

令和8年6月30日

1. ホームドア

①ホームドア整備に対する現状、課題、全体計画等

- 現状:東京都内全65駅のうち、ホーム上の安全対策として、令和元年度(2019年度)までに東横線、田園都市線、大井町線、目黒線の全43駅でホームドアの整備が完了しており、池上線、東急多摩川線は、全22駅でセンサー付固定式ホーム柵の整備が完了しております。目黒線については列車を6両編成から8両編成とする長編成化にあわせ、令和3年度(2021年度)までに2両分のホームドア整備が完了しており、令和4年度(2022年度)から供用を開始しております。また、池上線については五反田駅へのホームドア整備を進め、令和6(2024)年度末に供用開始しております。
- 課題:センサー付固定式ホーム柵が整備されている池上線、東急多摩川線の将来計画・駅の構造によっては、大規模なホーム改修、補修が必要になる可能性があります。
- 目標・取組の考え方:10万人以上を優先的に整備、10万人未満についても、転落防止等の観点から必要性等を検討します。
10万人以上である駅のうち五反田駅については令和6年度(2024年度)末に供用開始済み、蒲田駅は今後予定される大規模改良工事に併せて整備を予定しております。
※利用者数については平成31年度(2019年度)に公表している実績を基準としています。

②各駅の計画

<利用者10万人以上駅>

駅名	路線名	事業期間	整備状況 (令和8年6月末時点)
五反田駅	池上線	令和5年度～令和6年度	整備済
蒲田駅	池上線 東急多摩川線	未定	未整備